

富山高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	法学
科目基礎情報					
科目番号	0071		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	機械システム工学科		対象学年	5	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材	六法 (令和5年度版が望ましい。種類は問わない)				
担当教員	後藤 亜季				
到達目標					
1 法学の基本的知識を身につける 2 物事を法的視点でとらえ、考えられるようになる					
*なお、本科目では、60点以上の評価で単位を認定します。 評価が60点に満たない履修者は、願い出により追認試験を受けることができます。追認試験の結果、単位の修得が認められた場合には、その評価を60点とします。 *中間試験は行いません。評価は期末試験で行います。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
法律の意義や特徴、憲法とその他の法律の関係を理解できる。ある出来事を法的視点で見ると、特に刑法、民法の法体系の特徴やそれぞれの手続法の特徴を理解したうえで、どんな結論となるか、解決方法としてどのような方法を取りうるかを考えることができる。	法律の意義や特徴、憲法とその他の法律の関係を理解し、ある出来事の紛争解決について各法律の特色を理解した上でどの法律を使えばよいか分かる。	法律の意義や特徴、憲法とその他の法律の関係を理解し、ある出来事の紛争解決にどの法律を使うか分かる。	法律の意義や特徴、憲法とその他の法律との関係が理解できない、ある出来事について法的視点で考えることができない		
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 B-6 JABEE 1(2)(a) ディプロマポリシー 3					
教育方法等					
概要	学習目標 (授業のねらい) 本授業は、社会人として必要なリーガルマインドの基礎を身につけることを目的として行います。皆さんにとっての到達目標は、法学初学者として、ある出来事を法的視点からとらえられるようになる最低限の知識ときっかけを得ることです。授業の大まかな流れとしては、法学の基礎的知識を学んだうえで、最高法規 (法律の中でも最も上位にある法律) である憲法をはじめとし、生活に直結する民法、初学者に最も興味を持ってもらえる刑法を学びます。双方向の授業となるようにしていきます。				
授業の進め方・方法	講義				
注意点	授業中は、積極的に発言やノートテイクをしてください。積極性が、法学を習得するのに一番大事なことです。なお、授業計画は学生の理解度に応じて変更する場合があります。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
前期	1stQ	週	授業内容	週ごとの到達目標	
		1週	ガイダンス 法学概論	評価方法、学習の方法、法学の全体像を把握する	
		2週	法と法律	法律の存在意義、法律の種類、法源を理解する	
		3週	紛争解決手続—ある事件から	裁判制度、刑事事件手続、民事事件手続、ADRを知る	
		4週	法の適用と解釈	法解釈、法的三段論法を理解する	
		5週	刑法に触れてみる① —ある事件から	傷害罪 (犯罪) の成立要件とその成否① (刑法の構成、犯罪の3要件) について理解する	
		6週	刑法に触れてみる② —ある事件から	傷害罪 (犯罪) の成立要件とその成否② (犯罪の3要件詳論) について理解する	
		7週	刑法に触れてみる③ —ある事件から	傷害罪 (犯罪) の成立要件とその成否③ (正犯と共犯、その他) について理解する	
	2ndQ	8週	民法に触れてみる① —ある事件から	不法行為の成立要件とその成否 (民法の構成を含む) を理解する	
		9週	民法に触れてみる② —ある事件から	民法概論① (物権・債権とはなにか、その違いはなにか) を理解する	
		10週	民法に触れてみる③ —ある事件から	民法概論② (不法行為など) について理解する	
		11週	民法に触れてみる④ —ある事件から	民法概論③ (意思と契約の成立、成年後見制度) について理解する	
		12週	憲法①	憲法概論 (構造/ 全文および人権・統治、国民主権、象徴天皇制) を理解する	
		13週	憲法②	平和主義と憲法9条について理解する	
		14週	憲法③	憲法13条をはじめとする人権、憲法14条平等原則について理解する	
		15週	定期試験		
16週	試験のふりかえり 国際法と国内法	国際法と国内法の違いを理解する			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0